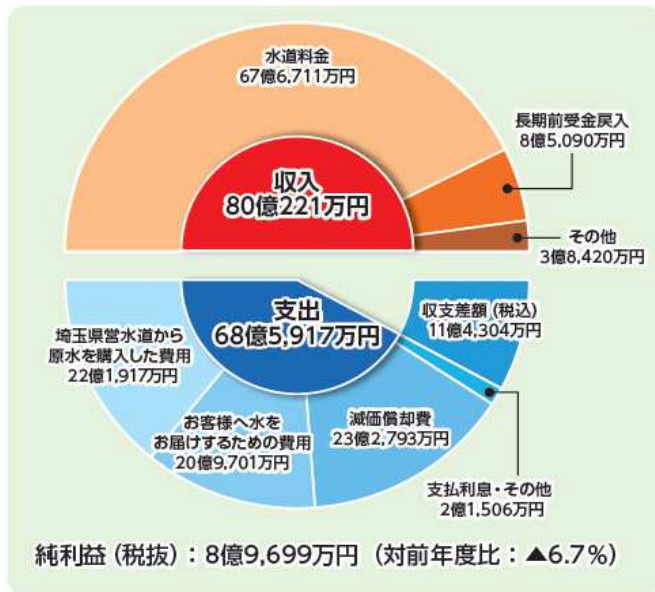


令和6年度 決算のあらまし

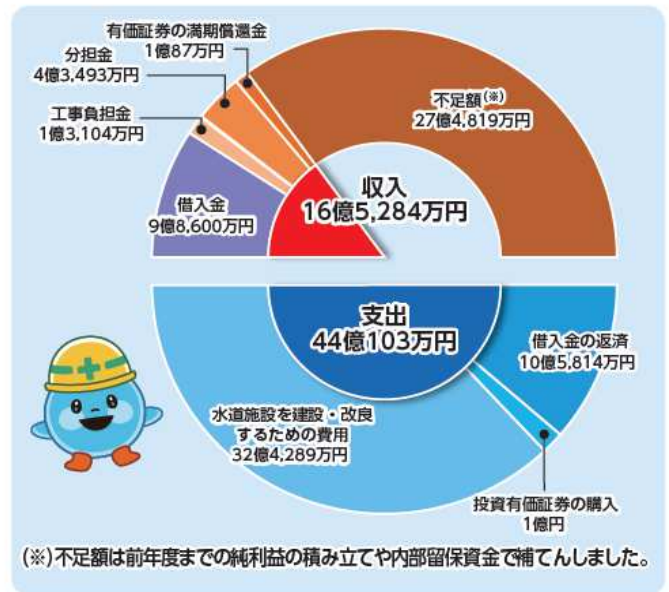
収益的収支

水道料金などの収入と原水の購入費や水を届けるために必要な費用の収支です。



資本的収支

借入金や加入者分担金などの収入と浄・配水場や配水管の整備等に必要の支出の収支です。

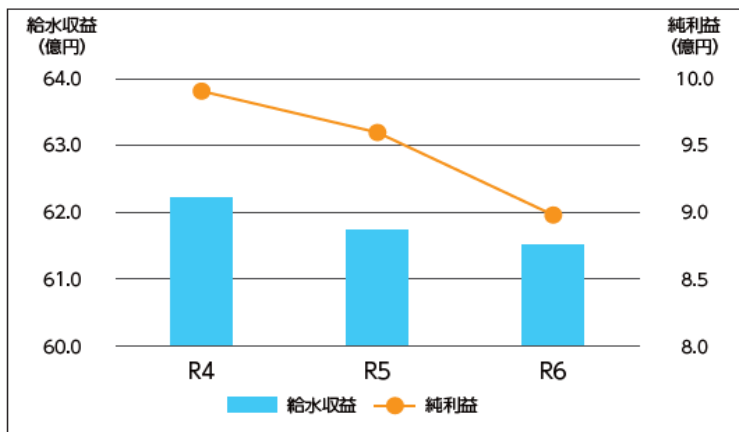


経営状況等について

企業団の経営状況について、収益的収入から支出を差し引いた令和6年度の純利益は約9億円を計上しましたが、人口の減少や節水型機器の普及等による水需要の減少により、給水収益が減少する一方、水道施設の耐震化・老朽化対策に要する費用等が増加していることから、経営状況を示す純利益は年々減少しています。

引き続き、お客様へ安全・安心な水道水をお届けするため、水道施設の計画的な更新と経費の節減等に努め、持続可能な水道事業経営に取り組めます。

<過去3年間の給水収益と純利益の状況>



<令和6年度の主な施設整備事業>

(金額は税抜)

築比地浄水場系基幹管路更新事業	7億5,482万円
築比地浄水場(松伏町)から松伏町内を経て越谷市内に至る基幹管路(特に重要な管)の耐震化	
西部配水場設備整備事業	6億9,791万円
西部配水場(越谷市)の老朽化した設備の更新と、高効率配水ポンプの導入による電気料金と二酸化炭素排出量の削減	
配水管布設替工事	6億9,928万円
越谷市内・松伏町内の老朽化した配水管の更新と耐震化	

<管路の耐震管率(令和6年度末)>

51.4%

対前年度比：+0.5ポイント